

オニツカ杯招待大会 競技規則

日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に従う。

競技方法	大会1日目、各ブロック3チームによるリーグ戦。 2日目、各リーグの1位でトーナメント戦。2位・3位は交歓試合を行う。
マンツーマンの推進	マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。(2019年2月21日改訂) 目先の勝利に捉われない長期的な視野に立った指導を目指し、バスケットボールの攻守の基本である「マンツーマンの推進」を図ること。 全試合 マンツーマン コミッショナー を配置する。
試合時間	各クォーター5分 4クォーター制 ハーフタイム3分(次のゲームのチームは練習できない) 1日目は定刻を基本とし、遅れた場合は本部で時刻を設定し連絡する。 2日目は、試合間をすべて5分とする。
出場条件	参加資格(登録選手・登録予定選手)のある選手であれば試合ごとに変更できる。 登録については、JBAの登録関連規定に基づく。 移籍選手についてもJBA基本規定に基づき、承認されていれば可能とする。 ユニフォーム・パンツは、同色・同型でチーム全員揃える。
ベンチ	試合日程の左記のチームがTO席に向かって右側、ユニフォームは、淡色とする。 大会エントリーは25名、ゲームエントリーはそのうち8~15名とする。 ベンチに入れるのはゲームエントリーした選手のみとする。 スタッフは、コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・その他の計4名。 ベンチ入りスタッフの中には必ずコーチライセンスを取得しているものが入ること。 ライセンス取得スタッフは全員、試合中ライセンス証を首にさげておくこと。 スタッフを変更する場合は、所定の用紙に記入の上、本部で承認をえる。
審判	全試合連盟よりの指名審判制とする。
TO	各チーム割当のゲームをお願いします。 大会前に必ずオフィシャルが出来るように指導して大会に参加すること。 ※T、O、指導ができる指導者等の帯同をお願いします。
試合成立	JBAの競技規則に準ずる。 不成立試合は交歓試合として行う。 その場合、試合開始までに本部へ連絡し、審判・相手チームにもその旨を伝えること。
延長戦	2日目1位トーナメントのみ4クォーター終了時同点の場合、2分間のインターバル後、先に2点取ったチームの勝利とする。時間は3分間で、どちらも2点に到達しない場合は必要回数3分間の延長を行う。この場合もすべて、2分間のインターバルをとる。
メンバー表	申込時に所定の用紙で提出すること。 大会当日にメンバー表に変更がある場合は、変更届を1試合前までに大会本部へ知らせる。 第1試合については、開始10分前までとする。
スタッフ変更	大会当日スタッフの変更がある場合は、変更届に記入の上、本部で承認を得てください。 変更がある場合は1試合前までに知らせる。第1試合については、開始10分前までとする。
ボール	人工皮革ボールを使用する。 男子・ミカサ ◇ 女子・モルテン
その他	ベンチスタッフ、TO指導者は別紙「試合進行をスムーズに行うために」を確認しておくこと。

スムーズな試合進行が出来るよう、皆様のご協力をお願いします!